

「命」と「健康」を侵す原発を、経済のための「必要悪」と思っている方たちがいます。

例えば半導体は、停電の可能性のあるところに工場を置くことができない、などと。

原発は自然エネルギーへ移行するための一段階で、電力維持には不可欠だという人も。

しかし線量も測る人と測り方で変わるように、未来は気の持ちようで変えられます。

原発は「必要悪」ではなく、「必要ない悪」です。

国がだめなら、市町村レベルで変えていかねばならないでしょう。

やっぱり個人や団体の声は大切です。

今日のシンポジウムを小田原で開催しようと言った、足柄農の会の I さんに感謝です。

これは第一歩として、次の展開を期待しています。

その時には是非また、縁の下のネコの手をお貸しますよ。

それから市長さん、内緒にしないで、小田原から早く「浜岡廃炉！」と叫んでね！

① とても良い機会でした。気持ちも含めて 本当ど真ん中で体験してしまった方のお話を聞いたことは それだけで充分意味がありました。

② 色々想像します。体育館のようなところの生活がどれだけできるだろうとか、少しでも人々をつなぐほうの働きが出来るだろうとか、家族を失っていたら最後まで立ち上がれないんじゃないだろうか とか……マサイさんの立場だったら、私も戻るんじゃないだろうかと思いました。小さい子がいたら別だけど。

③ 神奈川県にいる人間はどう考えて行動すればいいのだろうかと考えると、「私は被害者だ」とだけの立場に立つとまちがえそうだと思います。この何十年、この政治を(結果的に)支えてきた人として、この生活をしてきた人としての 痛みや はずかしさを感じます。だから、そこから出てきた汁は、のまなくちゃいけないような気さえます。(これから子どもを産むとか 小さい子を育てるとかだと、もっと複雑に考えると思います。) 生産者と消費者が神奈川県でぶつかってはいけないと思います。それは、日本中でぶつかってはいけないと思います。生産者と消費者は そういう関係ではない。

④ 次のテーマとして、どういふかんけいだろう どういふ関係になればいいのだろうということを 考えたいと思います。

人間の幸福 子供たちの将来の事を考えさせられました

今まで恵まれすぎていました。原点に戻り生活改善をした方がいいのではないかと思いました。

自分は今何をすべきかと問われました

次の時にはひとつのテーマとしてとりあげられたらと思いました。

マサイさんの思いにいろいろと共感しました。

私は このフクシマを機に 多くの国民、地球人が 原発の事実気づくことができたということが「よかった」と言えるようにしていかなければならないと思っています。

1人1人の力は微々たるものですが、波になるよう 動いていきたいと思っています。

放射能被害の当事者になった方の 避難された方、動物を飼っているのでやむを得ず残った方の体験談は、とても実感が伝わって良かったです。特に長い間培ってきた美しい土地、風景を奪われる辛さが 本当にどれ程ひどいか マサイさんのお話で良く分かりました。

テレビや新聞で報道される数値を聞いてもピンと来ない 被曝量とその恐ろしさを どのように判断して生活すればいいのか。これからも今日のような機会があれば 勉強して行きたいと思っています。

マサイさんに敬意を表します。私も、たぶん同世代かな？

私たちはホント逃げられません。チェルノブイリを知って その後の活動を続けてきました。今度のことは 本当にショックですか？ ひきうけて生きてくしかない、最近思い始めました。

被災者の気持ちは理解しているつもりですが、少し厳しい事を言うようになるかもしれませんが、自分の素直な気持ちですので書かせていただきます。自分は大学4年で、化学について学んできており、太陽電池を研究している研究室に入っています。まず原子力発電については、今の日本や世界の技術では次世代発電は20年かかるだろうと言われていました。原発は、リスクは大きいが発電力はずばらしい。この事から20年以上は原発はなくなるだろう。また、自分がニュースや国民の話の話を聞いていると「放射線」と「放射能」の違いや「m(ミリ)」、「μ(マイクロ)」の大きさがどれだけちがうのか、「シーベルト」と「ベクレル」の違いなど理解できていないのだとおもった。また、そのような事もわからず生活している事が自分は恐ろしいと思った。つまり、違いが分からない事が恐ろしいというより、理解しようと努力しない事が最も恐ろしいと思う。また 太陽電池など次世代発電はエントロピーとエンタルピーの差が広すぎて、実際使用することができない。自分は停電も節電も賛成だが、日本の産業 工業 科学技術は、成長は著しく下がるだろう。そのことから、次世代発電は遅れるのは確実である。放射線に関しては、空気中の放射線に関しては、日本はチェルノブイリとは違く、軽水炉を使用していることから原発での死者はほとんどいないだろう。またほうしゃせんは大気中で拡散することは分かっているが、土砂、人、動物への被曝に関しては、吸着することからも、それ以上被曝しないことが大切であると感じた。また このような会を開くことは大切だと思う。国民の中では被災者しかできないことは確実にあると思う。自給自足は確実に大切だが、人に頼ることは、少なくとも大切だと思っている。市・町・村のずばらしさは そこに住んでいる人々しか伝えることはできない。自分は次世代発電の開発に微力ながらたずさわっていきたくて思いました。政治家は日本を変えられません。変えられるのは自分たち国民だと思っています。乗り越えるために気持ち1つ変えよう。

「までの力」を読みました。美しい村の景色、人の心。マサイさんの自分の住む地の美しさを語って思いが溢れてしまった事を、本当にマサイさんの気持ちに近づいて、共に涙があふれました。当事者の方々の言葉を聞くことができ、ありがとうございました。

橋本さんは福島産の野菜は買わないと言われましたが、私は風評被害に苦しむ農家さんのニュースなどを見て お店に出せるものだから、買ってあげなくては・・と思うのですが、信じてはいけないのでしょうか？ 自給自足しかないのかなとも思います。

自分の生活を豊かにすることや利便性ばかりを追求して生きてきましたが、今、子供たちに申し訳なく、どう謝ってよいのか分かりません。3月11日で自分の心も変わり、世界も変わった気がしますが、リセットして、新しい国を造って行けたら、と思いました。

マサイさんのお話を聞いた時には涙がとまりませんでした。当事者にならないと分からない。当事者となって初めて気づくことがあり 人を差別している自分がいたと聞き また涙が出ました。自然、美しい自然を美しいと感じることができなくなる気持ち。大きな痛手を負ったことをあらためて感じ これから私たちはどう生きていったらよいのか 考えさせられました。また、それにもまして力強く生きるとは。また 再生可能エネルギーについても再考したいです。間伐材のチップボイラーについても考えたいです。

皆さまの関心の高さにうれしくなりました。

後ろむきになっても仕方ない。全くその通りです。
いろいろな人がいろいろな角度からとりくみましょう。

『日本国』の化けの皮がはがされた！

まなべ 『日本人』

原発は危険と分かっているけども その中止を訴えることもせず かつ、その発するエネルギー(電力)の恩恵に浴していた己を、今までの生活を深く反省する3ヶ月であった。

本会合に出席して 己の漠然とした反省点が整理するきっかけを与えられた気がする。

3. 11の後、原発や放射能については 様々な報道がありました。しかし、今回のような声を聞くのは初めてであり、大変参考になりました。今後も、もっともっというんな場面でこのような話をお聞かせいただけたらと思います。橋本さんやマサイさんは測定する機器をお持ちとのことで、この時点で私達とはスタートラインが違うと思いました。予備知識がある、無しで かなり差が出ます。お家に重装備で帰られた際、なにもそういう装備をしていなかった方と合われたと言っていました。私達はそちらの方々と一緒にレベルだと思っています。どうか、お持ちの知識をそういった方々へ広げていただけたらと思います。

あと、こういう意見は少々気を悪くなさるかもしれませんが、橋本さんが、「放射能は未来もうばった」と言っておられました。「津波だって、未来をうばっています。人命もうばっています」どうかその点は考慮いただければと思います。

きたない字ですみませんでした。本日は参加できてよかったです。ありがとうございました。

- ・テーマの「どう乗り越えるか」は簡単な問いではない
- ・多くの市民ボランティアが被災地を訪れている。そのような方の報告会を開いて、共有することも考えてはいかがでしょうか。
- ・いのちを守る、つなぐこと。当事者にならないと気付かない事は多い。時代の当事者である今こそ、ゼロベースで考え直すべき。
- ・母親目線の話は身につまされた。こういう声に一つ一つ対応していくことが重要なんだと思う。

現地の方々の 生の声を聞くことができ、 わずかですが思いを共有させていただきました。

放射能から逃げるしかない生き方と、逃げることのできない生き方は 一見 正反対の立場のようですが、生命を守る、土地(環境)と生き方を守るという側面が、両方必要であると 認識させていただきました。

この会を開いてくださってありがとうございました。

本当に これで終わりにせず、継続していくことが、これから 大切なことだと思います。

ディスカッションを経て — 実際に口にする食べ物や 体に触れる様々な物品への不安は限りないです。

何が安全で 何が危険かは 誰にも分からない現在、正確な公表も大切ですが、やはり人間は食べなくては生きていけないということからは 逃げられません。だからこそ まず 大元の 全ての原因である原発を 即 廃止にするんだ！ という強い流れが必要だと思います。

「卒原発！」 原発を卒業して、太陽エネルギー、バイオマス発電に切りかえよう。

まずは、小田原から！

他人事ではない、自分たちの問題。

いのちを大切にしない政治、産業・・・という言葉は重いです。

急にはできない事かもしれませんが、これまでの便利さを考え直す機会なのでしょう。

- ・せっかく来てくれたゲストの話をもっと聞きたかった。
- ・ファシリテーターの方は、来場者とゲストをつないでいただきかった。
- ・あれでは前半の講演の時間を延長しただけに思えました。
- ・プログラムにあたるマサイさんの作詞・作曲の歌はどうなったんですか？

となりの市から参加しました。マサイさんの言葉が胸を打ちました。福島が新しいエネルギーを使った次の時代のモデル地区になり 本当の意味で「福」の島になることを祈っています。

そして、ここで 人類が原子力発電を止めなければならないと 強く思いました。

私は今、この原発のことをからめた短編人形アニメーションを撮っています。

今日のお話を聞いて本当に勉強になりました。ありがとうございます。

| | |
|--|--|
| <p>今回の報告会でのお話は大変勉強になりました。 実際現地にお住まいのマサイ(風見正博)さんのお話は、とても参考になった上に、これからの生活にも興味が沸きました。</p> <p>又、今後も来て下されば 話を聞きたいと思います。</p> | |
| <p>現場の当事者の方々の話が聞けてよかったです。 貴重なお話を有難うございました。</p> <p>私の家は先代がみかんの専業農家でした。 今は兼業農家となって農地を荒らさないようにして、自給の野菜を作っています。 それでも1ヘクタール以上を管理するのは少し大変ですが、畑の維持には総合的な素晴らしさがあります。 おいしい食物を食べることは健康によいし、自然を非農家の人に提供することはとても楽しいことです。 しかし今回のお茶の事でその生活基盤が大きくくずれてしまいました。 大変ショックを受け、今、不安です。 でもここからは離れられません。</p> <p>福島現状を聞いて、まだ小田原にいてよかった、被害を受けた方々に大変申し訳ありませんがそういう思いになってしまいました。やはり今、ここにある自然を大切に、風見さんのような思いで生きたいと思いました。</p> <p>消費者が生産者からのがれるということがありますが、この近辺の土地柄から少しの農地でもよいので、自分で農業をやってみる、ということは体験から学ぶということでは必要ではないかと思えます。</p> | |
| <p>14～5年前、高木仁三郎さんの講演会を主催し、原発と人類(生命)は、共存できないと解った。</p> <p>子どもが小さい時、チェルノブイリの事故があり、子どもには一切牛乳を飲ませなかった。</p> <p>ところが福島の場合、“暫定基準:安全”のせい、今回牛乳が飛ぶように売れているという。 とってもゾッとする。 今日とてもよい話しをありがとうございました。</p> <p>今日テレビを見て、御用学者、御用政治家、ホンモノの学者、ホンモノの政治家を見る目が出来たと思う。</p> <p>原子力は、核の捨て場所が無いという事だけでも、人類(生命)と共存できない証しだと思。</p> <p>これからも、本当のことがわかるこのような企画を、よろしく願いいたします。</p> | |
| <p>原発に頼らずに必要なエネルギーを確保できる。 新しいエネルギー社会をつくる時 福島や他の県で起きている問題が二度と繰り返されないように 日本みんなで知恵を出して行きましょう。</p> | |
| <p>放射線の被害者と、農業生産者の合意点の議論がほしい。</p> <p>広島 長崎と 原発の放射線等有害物発生量の比較の議論もほしい。</p> | |
| <p>小澤さん、橋本さん、風見(マサイ)さんのお話をお聞きして、TVのニュース等で断片的にしか知らされていない情報の奥に、人の生々しい生活があるんだなあと感じ入りました。 1人々々の心の復興に向けて何をしたらよいのか考えさせられました。 マサイさんの過去も現在もそして未来までもがとりあげられてしまったとの言葉が今でも心にひびいています。 物心両面の支援が求められていることがよく分かりました。</p> <p>シンポジウムの中でいろいろな方の考え方、声が聞けて良かったです。 子どもたち、いのちを大切にする、そんな日本にしていきたいと思いました。</p> | |
| <p>“理不尽”という言葉につける原発事故があつてから、風景やその他何も変わらないのに自分の気持ちが変わってしまったと感じる。 そして無職無臭がこんなに恐ろしいこととは……。 やはり何としても子ども達は守らなければ！！「津波は過去と現在をうばったが、原発は過去と現在、そして未来までうばった」の言葉、本当です。</p> <p>有機農業をやっている一人として、草などを土に入れたい肥として使えないだけでなく、どう処理したら良いのか。原発のゴミ(?)だけでなく300k離れているこの地でもこの有様です。(自然の中で子供たちを遊ばせられない！！孫達に有機野菜を食べさせられない。悲しいです。)</p> <p>日本は原発大国になる前に、広島・長崎の被爆に学ぶべきでした。 一部の人は本当に学ぶ事が出来、原発の恐ろしさを告発していたのですが…。</p> <p>原発の被害は 日本全国は勿論、地球(宇宙)全体だと思います。 正直な所、自分自身どう考え対処して良い</p> | |

わかりません。原発は勿論なくしましょう。節電も勿論いたしましょう。有難うございました。

農業への深刻な影響がとてもよく分かりました。

「原発をどう乗り越えるのか」～個人としてどう考えるか、行動するかという話が多いですが、社会的にどう乗り越えるかという議論がもっと欲しかった。生産者と消費者のとらえ方は参考になった。

市長の「地域自給圏 構想」はよかった。食・水・エネルギー ISEP 飯田さん アドバイザーにする

あしがら農の会 笹村出さんのブログを時々読ませていただいていたので今回のことを知りました。今までは東京在住でしたが、神奈川県で農業をして行きたく、昨年 11 月より湯河原町とに重生活を始めました。震災当日は、受験した主人の合格発表(神奈川県農業アカデミー)の日で、合格を喜んでいたところでした。主人は 5 月より農業研修受講しています。今は、汚染されている土地で今後農業を始めて良いものだろうか？ 私の実家の家族が住んでいる神奈川県で行っていきたいが、もっと西方面で始めた方が良いか、正直思っています。本日は、たくさんの貴重なお話が聞けて ありがとうございます。そして、いのちを大切にす経済、政治、当たり前のことだと思います。今回の原発の問題が、軌道修正のきっかけにならないと 日本人としてとてもはずかしく、学びのないものになってしまいます。

今後是非ともこのような会を続けてほしいです。

原発事故で 私たちの誇れる日本のふるさとが 消えてしまいそうになってるなんて ホント 悔しいです。

つくづく思いました。そして 今こそ 戦後高度成長を追求し続けてきた経済優先社会のかじとりを 大きく変えるときだと思いました。そうじゃないと原発はなくなるし、命を守る政治社会にならないと思いました。

・子どもの命を優先する意思をこの場で共有できる方々がいらっしやったことは大きな収穫です。 ありがとうございます。

・小さなことですが、市庁 7F で開催することは改めてはいかがでしょうか？ 7F となると、参加者の多くはエレベーターを使います。節電をするためにも、たとえば、休庁日なら 2F の踊り場を使うとか、より節電につながる取り組みをお願いします。 次回も期待しています。

☆すばらしい演者を招いてくださいましたね。おどろいています。

前半の報告(小澤さんのは聴けませんでした。)にも感動しました。特にマサイさんのお話には深く共感いたしました。こんなに危険な原発を山ほどかかえ、今まで無事でいたことが「不思議(非現実)」であり 3.11以降、被災することで「現実」に立ち、これからの活動に人間としての真価が問われるのではないかと思います。

(マサイさんの報告が、私を目覚めさせて下さった！)

☆後半の宙八さんの発言には、身が引き締まりました。《戦後の日本の失敗が、「原発」で明らかになった。

日本の経済の本性が「命」を守ることを考えないものであること。福島で起きている事、原発犯罪である。

本当のことを言う人が分かったということは希望である。3.11宣言で福島は蘇るべき。》

マサイさんの「トリック」のお話も『魂のメッセージ』でした(100年のスパンを超えて。)

☆トリックに負けない、自分の✓トリックを築いて生きていきたいと思いました。

私は、福島に住んでいたことがあります。事情で離れざるを得ませんでした。一生住んでもいいな～と思うほどの良い土地でした。本当に好きな土地でした。震災当初はその被害と影響を心配することでしたが、原発の爆発後・・・大変な事になったとパニックでした。

福島には当時お世話になった大切な方がたくさんいます。東北には、友人も多くいます。やはり温度差や様々な理由で、放射能のことをしっかりと話す事ができません。非常にもどかしいものです。

私自身、草を利用した農業をしています。この辺りも例外なく降り注いだものに、畑を眺めたらずんでしまいました。私は住むところもあり、被災地の方々に比べたら非常なことはありませんが、この放射能汚染に関しては変わらないと思っています。日々考えています。農業は、いのちを作っています。そして、自分のみならず周り

| |
|---|
| <p>の人の命の源となる・・・これを続けてよいのか、続けられるのか。畑も山も、芽吹きも過ぎて今は青々として、私たちから見る自然の状態を変わず続けています。マサイさんが感じられた通りです。今は、悩みつつも自然の菌の力も信じて、畑を少しでも回復させようと考え始めています。私たちは今後、苦しみながら生きていかなければならないかもしれません。子どもたちのことを思うと、生まれてくる未来の子供たちのことを思うと、このままではもちろん終われません。ただ、事実を受け止め悲観でなく、これからをどうするか、どのように生きていくか考えていきたいと思っています。今日はありがとうございました。</p> |
| <p>○ 8年前、マクロビアンでよい時間をいただきました。ありがとうございます。 自然育児友の会の合宿でした。次女は1才でよちよち歩きなのに、「流し」そうめんをちゃんと「はし」でしっかりとつかまえ、どんどん食べていました。いろいろな折に語りついでいるくいしんぼうぶりです。～これからはその場所も含めて、孫までに語りつぎます。</p> <p>○ あの素敵な場を離れなければならないということを知って何回目かの大きなショックでした。宙八さんにお会いしたくて来ました。3ヶ月、300km 離れたこの地でも立ち直れず、ほとんど家に引きこもっています。今日は人に合うのがこわい気持ちをおさえて出てきました。温度差を感じるのがこわいのです。はるかに大きな悲しみを受けた方々が話してくださって感謝いたします。とても力のいることと思います。</p> <p>○ 会場で発言する気力は出す事ができませんでしたので、ここに書かせていただきます。 子どもと一緒に食べるものに規制値はありません。ゼロであるものしか得られません。数ベクレルでもあるかもしれないあしがら地域のものは食べられなくなりました。小さな家庭菜園の値など測れません。</p> |
| <p>当事者の方からの正しい情報、声を聞いて大変よかった。 しかしながら会場の方、わたしもふくめ、まだ傷からいえていない時期ではないかと思えます。客観的にとらえる心を整える段階を作った方がよいと思えます。(いわゆる行程表を作って、進めるのがよい) まず必要なのは、このような会を継続させることですので、がんばっていただければと思います。</p> |
| <p>「私たちはどこから来てどこへ向って行くのか？」あらためて自らに問い返す毎日です。直近で具体的問題に対処することと共に、百年千年の長いビジョンを持った我々の生き方への問い直しも又必要なのだと思えます。 3・11は日本における歴史的な出来事です。それを悲劇の記憶とするか？気づきで再生のスタートとするか？は我々の次世代への責務です。</p> |
| <p>小田原と大磯の間にある3km²の二宮町に住んでいます。今日はありがとうございました。 我町の町長は、「もう出ているものは仕方ない。そういったものを作り、又、えらんできたのは皆さん」だから「何もせず、ここに暮らすしかない」という首長です。背景は命と金の天秤です。かといえ、首長をせめるだけでは何も進まず、何も変わらない。 “各自の判断”が働く、又、それが尊重され、おっしゃるとおり、命の育みと営みが大事にされ受け継がれる社会であってほしい。自分も努力したい。</p> |
| <p>原発は事故が起きるから廃止すべきであるとする方向は、一面真理だと思いますが、たとえ原発事故がなかったとしても 放射性廃棄物の処理が不可能(破綻)しており、国の産業政策として位置づけることが間違いであることを、これからは強調すべきではないかと思えます。</p> |
| <p>会場に着いたのが4時すぎでした。かろうじて間に合った感じでしたが、場の雰囲気だけは伝わってきました。真剣に今のことを考えている人達の集まりだと思いました。 また次回も、その次もあつていき続けたらと思います。</p> |
| <p>暮らし向きと生きること、命を守ることについて再考できてとても助かりました。各自で判断し、正確な情報公開が必要な点を再確認しました。 尽くさぬ議論を続けていけたらと思っています。</p> |

原発から距離のある小田原にいますが、原発事故をかなり深刻に受け止めた私たち家族は、最悪のケースを考えて、悩んだすえ、3月から4月にかけて、海外に一時避難しました。そういった意味では、橋本様と近い気持ちで行動(避難)したり、もどったりし、いろいろ感じ考えて家族ひとりひとりがそれぞれにいろいろな思いを持っています。私は日本の常識の非常識もいっぱい感じて、橋本様と全く同じ考えできています。

これ以上日本の状態が悪い方向へ行かないよう、正しい情報をよく知って、考え、判断していくしかないと思います。そして原発から環境エネルギーへの変換を考える時、いままでの価値観の変換がなければ、と思っています。便利を追求し、そこに価値をおいてきた日本人のこと 価値観が変わらなければ、本当の意味での復興はないと思います。

放射能の数値を見ても正直よく理解できていません。目に見えないし、小田原は福島から距離もあって、まわりをみわたしても電車の明かりが消えたりしているくらいにしかパッと見は変化がなく、自分のまわりの人達も今までと変わらず日々生活できているように思います。

家族は食品に気をつけたり、事故後は海外への避難も一時しましたが、自分は突然の出来事に考える間もなく、身を守ったり、家族と過ごす事だけを優先し行動していたように思います。3ヶ月経った今。自分がこれからどう生きればよいのか。日々自分が自分でない気がしながら、どこか他人事のような気分で過ごしてしまいました。現実と向き合うきっかけとして、参加して良かったです……。

○ 橋本さんのお話から — いのちを無視してきた結果が原発事故であり、多くの企業の不祥事であり、いろいろな事故(鉄道脱線、飛行機墜落など)が共通しているのだと思いました。経済と安全な暮らしのバランスを具体的にもっと考えていきたいと思います。お体に気をつけて、今後のご活躍を期待しています。

○ 風見さんのお話から — とても共感しました(人・動物を見る目、自然を見る目の暖かさに)。余りムリをなさいませんように。7月か8月に連絡させて戴きますので宜しくお願いします。

○ 小澤さんのお話から — やはりデータが一番物を言う。これで信じられる。そして安全基準値を物差しに自分で判断、決断、予測ができるように勉強していきたいと思います。ありがとうございました。

○ 主催者のみなさんへ — 今日はとても分かりやすい報告会、シンポジウムをありがとうございました。次回、企画された時にはご連絡をお願いします。

○ 市長さんへ — 東日本大震災の被災地被災者へのボランティアの「私のできること」をネット等で募集して、コーディネートしてほしいと思います。

知らないことがまだまだあったし、これからまだまだありそうで、考えをまとめようとするとは今は無理と思った。お三人のお話 ノートにメモしたのでもう一度かみしめてみます。非常にお気持ち伝わってきました。よく考え、次に何をすべきか考えてみます。

足柄茶の生産者の方が自ら検査し測定値を公表したことはとても潔い事であると思いました。もし他の農作物も検査し公表するとどのようになるのか、基準値自身があいまいで、混乱するばかりでしょうか。それとももう検査し安全なのでしょう。小さいお子さんをお持ちのお母さんの心配も当然のことと思います。

原発のもたらした様々なこと、「どう乗りこえるか」は、まだ遠く、今はまだ真実を知りたいところです。この報告会、シンポジウムは意義があったと思います。

“「茨城産」お買得！！”と書かれたピーマン。通常見かけるピーマンの3倍位に大きくなった野菜を眺め、「……売られてるってことは、危険じゃないんだよな……」などと、頭の隅で思いながら買物がごに入れています。信じられるものがなくなってしまうですね。

静岡から参加しました。

お茶問題は他人事ではなく、生産者の苦悩は同じです。

| | |
|---|--|
| <p>本日は大変有意義な会を開いていただきありがとうございました。</p> <p>しかし、どのようにこれから生きていくべきかは、まだまだ見えるところまでは、いきませんでした。</p> <p>今後とも是非ともこの様な活動を続けていただきたい。関わっていきたいと思っています。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・風見さんには申し訳ありませんが、『核』関係は確率の世界です。半減期自体一つ一つの原子がいつ分裂するかは分かりませんが、半減期は変えられません！誰もこれを信じない人はいません。ガン患者や奇形児の生まれるのも確率で表わされますが、被曝線量比例して DNA が切断される数が増えるのも事実です。風見さんには避難していただきたいと思います。しばらく原発近くでの生産は無理です。ダメです。 ・橋本さんの考え方、行動には基本的に賛成です。 ・小田原でも、どこでも、放射線量を測定して判断するべきです。数値については立場によって違って仕方がないです。 | |
| <p>「どこへ行っても(放射能からは)逃げられない」「内部被ばくは全国区」「チェルノブイリ事故で気付かなかったが、今(被害の)当事者になって初めて知る放射能の恐怖」等、多数の貴重な意見が聞けた。</p> <p>もっと子どもを持つ母親、父親が参加すればと思うほど、大切な時間を過ごす事ができたと思っています。</p> | |
| <p>大変良い企画ありがとうございました。</p> <p>新エネルギー、省エネルギーについて若干たずさわっていますが、原発については地球温暖化防止の立場から賛成していました。各学習を経て、最近は全ての原発廃止に変わりました。</p> <p>このような企画が継続されるよう希望します。</p> | |
| <p>「人間の犯してしまった失敗を、自然が少しずつ、消していつくれるのを待つしかないのね」と娘が言います。</p> <p>娘は県で森林のことを担当しています。</p> <p>私は、自分が失敗してしまったと思える位、落ち込んでいました。</p> <p>今日、少しは、元気をいただきました。 ありがとうございます。</p> | |
| <p>福島原発事故は重大事故なのに、命を守らない政治、企業、学者には、本当に頭にくる。 と今日の話をきいて改めて思った。</p> <p>日ごろの新聞やテレビでは、そんなことは目につかない。知ろうとしないとそんな情報は入ってこない。</p> <p>脱原発に向かうよう、一人一人の力・声を あつめよう！ あげよう！ と思う。</p> | |